

報道関係各位

2017年5月11日  
学校法人 成城学園

## <創立 100 周年プロジェクト「いのちを守り合う成城ファミリー」>

### 一次救命処置(Basic Life Support)講習会

3 年間の累計受講者 **10,000 人突破!**

～東京レサシテーションアカデミーから「CPR 普及アワード」が表彰されました～

学校法人成城学園（東京都世田谷区 理事長:渡 文明）は、学園創立 100 周年記念「いのちを守り合う成城ファミリー」プロジェクトとして、【成城学園からいのちを救う輪を広げよう】を合言葉に開催している一時救命処置（以下 BLS）講習会が、開始から 3 年間で累計受講者 10,000 人を突破いたしました。

### <年間の学外・講習会受講者数が 1,800 人超え! >

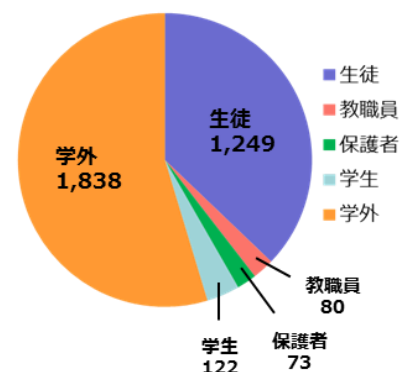
「いのちを守り合う成城ファミリー」プロジェクトは、急なアクシデントで心肺停止や呼吸停止に陥ってしまった人が発生した場合の確実な“ファーストレスポnder”（救急車が到着するまでの一次救命処置を行う人）を増やす事を目指し、2014 年にスタートしました。

講師は、日本ライフセービング協会公認の BLS インストラクターの資格を持つ本学園の 3 人の教員が務め、成城大学・高等学校のライフセービングクラブの学生や生徒がサポートに入ります。

学園関係者はもとより、学外への出張講習も行い、世田谷区立中学校の生徒や教職員の方を中心に、その他地域でも広く受講いただき、成城学園の生徒を超える受講者数となりました。

3 年目となる 2016 年度は、BLS 講習会を約 36 回実施し、年間受講者数は 3,362 人、プロジェクト開始から 3 年間の累計受講者が **10,000 人** (10,762 人 2017.03.31 末現在) を突破しました。

BLS講習会 受講者内訳



※「生徒」、「学生」は成城学園の生徒と学生  
※ それ以外の生徒は「学外」でまとめている

### <46 体のダミー人形を使った〈いのちを救うための〉実践的講習会>

BLS 講習会では、成城学園が保有している 46 体のダミー人形と 29 基の体験版 AED を使用し、実技中心の**実践的**な講習会を展開しています。

日本の救命救急の現状などに関する講義、死戦期呼吸の様子や心肺停止状態から蘇生した事例などの VTR によるイメージを喚起、実際の AED の操作や胸骨圧迫、フェイスシールドを使用した人工呼吸の実習を行っています。また、実習内容は開催側のニーズ、対象年齢に応じてカスタマイズして実施しています。



## 〈東京レサシテーションアカデミーより表彰を受けました〉

2017年3月14日、東京レサシテーションアカデミーより、成城学園中学校高等学校は「CPR普及アワード」の表彰を受けました。

「CPR普及アワード」とは、BLS（心肺蘇生+AED）の普及・啓蒙において、積極的に活動を行っている団体に贈られる賞です。成城学園の「命を守り合う成城ファミリー」を中心とし、海の学校での「いのちの教育」や中高生を対象とした継続的なBLS教育に対し、称えていただきました。授賞式の際、海の学校のコーチ経験のある、成城大学ライフセービング部3年生の勝又日葉さんは「BLSを伝えることは私たち自身も大きな学びの連続です。これからは指導者資格も取得し、もっともっと貢献できるように頑張りたいです」と受賞の際、コメントしました。

